

ネイティブバチルス属グルタミン合成酵素

Cat. No. DIA-155

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 グルタミン合成酵素 (GS) (EC 6.3.1.2) は、グルタミンを形成するためにグルタミン酸とアンモニアの縮合を触媒することによって窒素の代謝において重要な役割を果たす酵素です: グルタミン酸 + ATP + NH₃ → グルタミン + ADP + リン酸。グルタミン合成酵素は、硝酸塩還元、アミノ酸分解、光呼吸によって生成されるアンモニアを利用します。グルタミン酸のアミド基は、グルタミン回路の代謝物の合成のための窒素源です。

用途 臨床分析におけるアンモニアとATPの測定に役立ちます

別名 グルタミン合成酵素; GS; EC 6.3.1.2; グルタミン酸-アンモニアリガーゼ

製品情報

由来 バチルス属

外形 白から淡い茶色の粉末

形態 フリーズドライパウダー

EC番号 EC 6.3.1.2

CAS登録番号 9023-70-5

活性 > 15 U/mg

混入物 NADHオキシダーゼ < 0.05%

pH安定性 5.0-9.5 (37°C, 60分)

最適pH 8.0-9.0

熱安定性 60°C以下で安定 (pH 8.0、10分)

保管・発送情報

保存方法 密閉容器に入れ、乾燥させ、光から保護し、-20°Cで保存してください。